

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 22日

事業所名: おり〜ぶ上野山

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		スペースは広いが、個別対応を必要とするとき等に不足を感じる場合もある。活動内容によっては和室とプレイルームで分けて取り組んでいる。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	4		基準配置より加配をしている。が、活動内容や個別対応等によって不足を感じる場合もある。職員間で工夫をしながら、安全に楽しめる活動ができるよう話し合っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			多目的トイレなど誰でも使いやすいになっている。児童館内にあり、スロープや手すり、点字ブロック、多目的トイレ、介助用ベットが設置されている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		職員からの意見の聞き取りは適宜行っている。改善すべき点等についての提案がしきれていないことや、取り組みを全員に周知しきれていない部分もある。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2		毎年実施している。直近では令和5年2月に保護者評価を実施している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		前年度分は掲載済み。今年度分は3月にホームページに掲載予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	第三者による外部評価は実施していない。保護者評価やアンケートを実施し、業務改善に努めている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		定期的にテーマを上げて行われています。法人内で階層別の研修を年数回企画実施しており、各々が参加をしている。また、スキル向上の為に研修や虐待防止等の研修にも参加をし、事業所内でフィードバックする形で共有している。
適切な支	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		計画書作成にあたり、保護者の方へ再度ニーズを確認している。アセスメントを実施し、保護者の同意を得て計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		放課後ケアネットワーク仙台で作成した共通の書式を使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		毎月、行事や設定活動の立案を職員で相談し取り組んでいる。非常勤職員が立案には立ち合っていないが、進め方等を一緒に検討したり、意見を出し合っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		契約日数により利用の頻度は様々だが、曜日登録の為に週ごとにプログラムを立案しており、内容も固定化しないよう配慮している。職員人数や送迎時間等により、体制が厳しいこともある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		利用日に応じた細やかな設定までに至らないこともあるが、可能な限り個々に合わせた計画をたて支援をしている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			ゲームをみんなで行う週と仕事を一人一人それぞれ行う週とを交互に行なっている。それぞれの児童に合わせて、個別・集団活動のバランスを考慮している。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
支援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2		必ずとはいえない。長期休暇中の情報共有については、メモ書きでそれぞれのスタッフが書く形で以前よりは情報共有ができた。常勤職員で打合せを行っている。打合せに参加が難しい場合は、ミーティングノートを活用し確認を行っている。打ち合わせはできていない。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	2	個別にその日の支援について話す時もある。打合せという形ではないが、気になる事項等に関してはその都度話し合っている。必要に応じ、ミーティングノートに記載し、全職員で把握できるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		個別支援計画に沿ったケース記録を取っており、その他特記事項等も状況に応じて記載している。ヒヤリハットの共有に努めているが、口頭のみで記録が残っていないこともあるので、職員間で意識しながら記録をしていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		6ヶ月に一度、モニタリングを実施。計画の見直しを行っている。6か月以内でも必要に応じ見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	4		自立支援・創作活動・地域交流・余暇活動等の支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			児童発達支援管理責任者または、児童発達支援責任者の資格を持つ職員が出席をしている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3		保護者を通し情報共有・連絡調整を行っている。保護者の了解のもと、学校と直接やりとりをする場合もある。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	2	医療的ケアを必要とする児童の受け入れは行っていない。発作やアレルギー等配慮すべき点がある児童については、かかりつけ医や緊急時の対応など保護者と情報共有をしている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4		保護者から聞き取りを実施。必要があれば保護者の了解を得て、保育所等に情報提供を求めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4		小学生対象のため、福祉サービス事業所への移行はない。進級し利用先となる事業所へは必要に応じ保護者了承のもと引継ぎ等を行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3		依頼をし、研修に参加している。事例検討についても細やかに見てくださりご助言いただけるので、とても勉強になっている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8			今年度もコロナにより規模や回数の縮小はあったが、活動内容を考慮しながら長期休暇時の交流会や合同行事を実施し、交流を図っている。また日頃の遊びにも希望に応じて一緒に活動する等、自然な関わりを意識している。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			8	参加できていない。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			日々の送迎時、モニタリング時に活動内容やご様子を伝えている。また、ご家庭での様子の聞き取りも行い、共通理解を持って支援をしている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	7		ペアレント・トレーニングには至っていない。面談時や送迎時等に相談に応じることや、適宜助言等を行っている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		新規契約時、更新時の面談の時に説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			その都度聞き取り、職員間で共有、助言を行っている。助言までに至らない場合もあるが、傾聴しその後もご様子を確認しながら一緒に解決を目指している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3		例年行っている茶話会も、昨年同様今年度もコロナの影響で開催ができていない。先輩保護者と職員がテーマに沿ってオンラインで話す内容を撮影し、YouTubeで限定配信することでその代替を図っている。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		苦情解決制度を設置し、周知している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		ホームページに活動写真をのせている。行事や設定活動のおしらせを毎月配布しており、おり〜ぶ4事業所の活動内容を掲載した「おり〜ぶ通信」も年2回発行している。
	35 個人情報に十分注意しているか	8			施錠できる場所に保管している。お互いに声をかけ合いながら、職員一人ひとりが意識して行動している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			それぞれにとって分かりやすい伝え方を考慮し工夫している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	1	児童館を利用しているお子さんとの交流行事を立案し実施している。コロナによる中止や延期もあった。上野山児童館あそびのひろばでは、法人内施設にも協力を募り、交流を深めている。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			各マニュアルは作成し、職員に周知するとともに事業所にファイリングしている。保護者に周知しきれていない部分もある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			児童館と合同で月1回避難訓練に取り組んでいる。救命講習も毎年実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			定期的にチェックリストで振り返りを行い、月1回委員会を開催し、話し合いの機会を設けている。また、法人内の研修にも参加をし、事業所内で共有している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2		年2回身体拘束適正化委員会を開き、様子の確認と三要件との照らし合わせ、支援の工夫等を話し合い、身体拘束の必要性を精査している。必要な場合には面談時に保護者に丁寧に説明を行うとともに、了承を得て個別支援計画に記載し、署名・捺印をいただいている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5		現在、医師の診断による食物アレルギーのある児童の利用はない。これまでに診断されたことがある等、保護者から食材や様子等の聞き取りは行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事故報告書を作成し共有することで再発防止に努めている。ヒヤリハットは口頭でのみの周知もまだ多い現状であり、毎月の職員会議等で確認する等、各々が意識して書類に残せるよう、都度伝え合っている。事例集は作成できていない。